

大桑 第52号 無所属 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

私たち市民が政治に参加する流れを作ります！
栄区から、しがらみのない政治を実現します！

市議員4年目
よろしくお願ひします！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます(情報公開)。
- 2、大桑**まさたか**の政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくります(しがらみをなくす)。
- 4、子や孫のために持続可能な社会をつくります。

小児医療費助成が5歳まで 小学校就学前までに！

来月(平成19年4月)から小児医療費の通院助成の対象年齢が今までの「5歳児まで」から「小学校就学前まで」に拡大されます。

これからも小児医療費助成事業(所得制限の緩和や対象年齢の拡大)については他の事業とのバランスを見つつ皆様からの意見をお伺いしながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

副委員長就任

2月8日(木)に開会した第1回市会定例会(本会議)において、私こと大桑正貴が経済観光港湾委員会の副委員長に就任することになりました。

大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

第52号(3月号)

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL&FAX : 045-892-5187

携帯電話 : 070-6511-1295

<http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

1973年7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

2002年12月 派遣会社アシスト株式会社 退職

2003年4月 横浜市議員 初当選

若者政治家養成塾在籍(第1期生)

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子、マメ(猫)、グリ(犬)

(マメとグリはそれぞれの実家にいます)

ボランティア大募集！ TEL&FAX:045-892-5187

大桑と一緒にあって、泣いたり、笑ったり、喜んだりしてくれる人を募集しています。

討議資料

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅いずれかの駅で配布しております。

1月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成18年度1月現在の政務調査費累計残高は **- 103,402円**です。

今回の使用金の内訳

郵便代	0円	書籍代等	6,655円
大桑新聞印刷代等	327,810円	文具費等	26,520円
勉強会代等	29,800円	新聞代	7,170円
通信費	46,776円	事務所費等	101,804円
交通費	100,920円	道路使用料(1月分)	4,000円

1月の支出合計は

651,455円です。

近況報告

先日、私の母校である神奈川大学出身の政治家が集まったの交流会が催されました。党派を超えて意見交換でき、良い刺激になりました。

実は今回の神奈川県知事選挙に挑戦をする杉野正氏は神奈川大学出身です。

私は自分のこともあり直接応援することは出来ませんが注目したいと思います！

家庭ごみの収集運搬業務の民間委託！

来月(平成19年4月)から栄区における家庭ごみ収集運搬業務が民間委託化される方向で横浜市が動いております(ごみの収集が民間委託化されても収集するものや収集曜日などはまったく変わりません！)。

民間委託された当初は任された業者が慣れないためごみなどを取り残すのこともあるかもしれませんが、ご理解・ご協力をお願いします。

大船駅証明発行コーナー(笠間口)！

平成19年1月29日(月)に大船駅証明発行コーナーが開設しました(この証明発行コーナーの開設日時は月曜日～金曜日の10時～16時となっております)。しかし、この証明発行コーナーは横浜市の力を借りず**栄区単独**で開設しております。サービス内容や開設時間などを拡大するには皆様がこの証明発行コーナーを数多く利用し、横浜市に必要性を認めさせ予算を出させる必要があります。是非、大船駅証明発行コーナーをご利用下さい。よろしくお願い致します！

持続可能な社会(環境や財政などすべてを含む)を作る！

今後、私が政治活動をしていく上で、表にある3つの公約とは別に、4番目の公約として「**持続可能**」という言葉を加えたいと思っております。

この持続可能という言葉が地球規模で考えると、我々人類がこの地球上においてすべての生物・植物と共に幸せに生きていける社会を作ることだと私は考えます。そしてこの「**持続可能**」という言葉に基づき今の日本を見ると、まず1,000兆円を超えられている借金を抱えている財政の健全化が必要だと思いますし、年々深刻化する環境問題も何とかしなければいけません(例えば緑を守るための税金を特別に集めるなど)。また、横浜市も引き続き財政の健全化に努めなければいけません(まだ約6兆円もの借金があります)、緑はどんどん減っています(栄区の緑も確実に減っていますし、上郷高校周辺の森も開発される可能性があります)。このような所を見てもやはりこの横浜市にも「**持続可能**」という考え方は必要です。最後になりますが、国や市に借金が増えればしわ寄せが国民・市民にきますし(税金が上がるなど)、環境を守らなければ人が地球に住めなくなってしまいます。

だから今回私は「**持続可能**」という言葉が公約に掲げることになりました！

大桑新聞

大桑新聞ではみなさまとともに、
栄区について考えていきたいと思っております。

FAX: 045-892-5187